

# 実践的な図上訓練の実施支援

災害対策本部の機能向上と災害対応能力の向上にむけて



(当社が実施支援した図上訓練の様相)



株式会社 東京建設コンサルタント

## 業務実績

業務名	発注機関
<b>業務名</b> 燕市防災訓練(図上訓練)実施支援業務(平成 19 年度) <b>【業務概要】</b> 燕市において直下型地震を想定し、燕市災害対策本部を対象とした図上訓練の企画運営支援、評価検証を実施。評価検証に基づき地域防災計画の課題の抽出と改善案の検討を行う。	新潟県 燕市
<b>業務名</b> 御坊市図上訓練実施支援業務(平成 18 年度) <b>【業務概要】</b> 御坊市において南海地震・津波を想定し、御坊市災害対策本部、和歌山県、県振興局の参加を得て図上訓練の企画運営支援、評価検証を実施。評価検証に基づき「御坊市初動対応マニュアル案」を作成。	和歌山県 御坊市
<b>業務名</b> 平成 18 年度近畿府県合同防災訓練図上訓練企画運営支援業務(平成 18 年度) <b>【業務概要】</b> 直下型地震を想定し、京都府災害対策本部を対象に、京都市、近畿府県等の多数の防災関係機関の参加による図上訓練の企画運営支援を行う。	京都府
<b>業務名</b> 平成 16 年度近畿府県合同防災訓練図上訓練企画運営支援業務(平成 16 年度) <b>【業務概要】</b> 直下型地震を想定し、滋賀県災害対策本部を対象に、大津市、志賀町、近畿府県等の多数の防災関係機関の参加による図上訓練の企画運営支援を行う。	滋賀県
<b>業務名</b> 北九州市災害対策本部図上訓練支援業務(平成 19 年度) <b>【業務概要】</b> 北九州市において洪水を想定し、北九州市災害対策本部を対象とした図上訓練の企画運営支援、評価検証を実施。評価検証に基づきマニュアル修正案を検討。	福岡県 北九州市
<b>業務名</b> 緊急時行動マニュアル検討業務(平成 16 年度) <b>【業務概要】</b> 九州地方整備局が行う新任副所長及び新任係長を対象とした研修のなかで実施する図上訓練(討議型災害対応訓練)について企画し、訓練を実施するための資料を作成。さらに国土交通省九州地方整備局の職員が迅速かつ的確に災害対応を行うための緊急時行動マニュアルを作成した。	国土交通省 九州地方整備局
<b>業務名</b> 石川県災害対策本部訓練(図上型訓練)実施支援業務(平成 17 年度) <b>【業務概要】</b> 直下型地震を想定し、石川県災害対策本部を対象に、自衛隊、海上保安庁等の複数の防災関係機関の参加による図上訓練の企画運営支援を行う。	石川県

## お問い合わせ

本社	〒171-0004 東京都豊島区北大塚 1-15-6	TEL.(03)5980-2633
東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2-2-13 仙建ビル	TEL.(022)222-8887
名古屋支店	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-20-25 丸の内 ST ビル	TEL.(052)222-2771
関西支社	〒541-0048 大阪市中央区瓦町 4-6-8 大阪化学繊維会館	TEL.(06)6209-0700
中国支店	〒732-0052 広島市東区光町 1-9-2 第 4 寺岡ビル	TEL.(082)264-9709
九州支店	〒810-0801 福岡市博多区中洲 5-6-20 明治安田生命福岡ビル	TEL.(092)262-7311
事務所	岩手 宮城 福島 北陸 埼玉 千葉 東京 神奈川 茨城 愛知 兵庫 奈良 中国 四国 福岡 熊本	
営業所	青森 富山 群馬 栃木 船橋 山梨 長野 静岡 岐阜 三重 京都 山口 佐賀 大分 宮崎	

# 災害対応能力の向上を目指した図上訓練の実施支援

災害対策本部を迅速に立ち上げ、円滑な活動体制を構築するため、実際の災害をシミュレートしたロールプレイング方式の実践的な図上訓練の実施支援を行います。併せて訓練結果を評価し、地域防災計画や初動対応マニュアルの検証を行います。

## 背景と課題

従来の防災訓練では、自治体や消防などの防災関係機関が予め定められたプログラムに従い災害救助活動の実演を行う実働訓練が一般的形態でした。これに対し、「何が起きるかわからない」という実際の災害時の状況を想定し、より実践的に災害対応能力の向上を図ることができるような、新たな訓練手法が求められています。

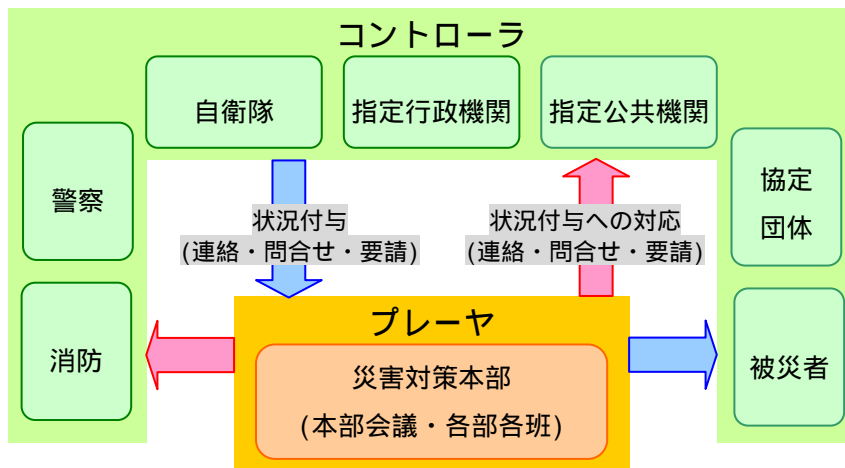
## 課題に対するご提案

新しい実践的な訓練手法として、訓練参加者がプレーヤ(訓練を受ける側)とコントローラ(訓練を仕掛ける側)に別れて行うロールプレイング型図上訓練をご提案します。

図上訓練では、災害対策本部等の役割を演ずるプレーヤは予めどのような訓練を行うかは知らされないまま訓練に臨みます。一方、コントローラは防災関係機関として、予め設定された訓練シナリオに基づきプレーヤに各種の対応を求めます。

このような仕方で、実際の災害時の状況を想定した災害対応業務を再現することにより、訓練参加者にとって、現実に即した実践的な災害対応能力の向上を図ることが可能となります。

図上訓練の実施イメージ

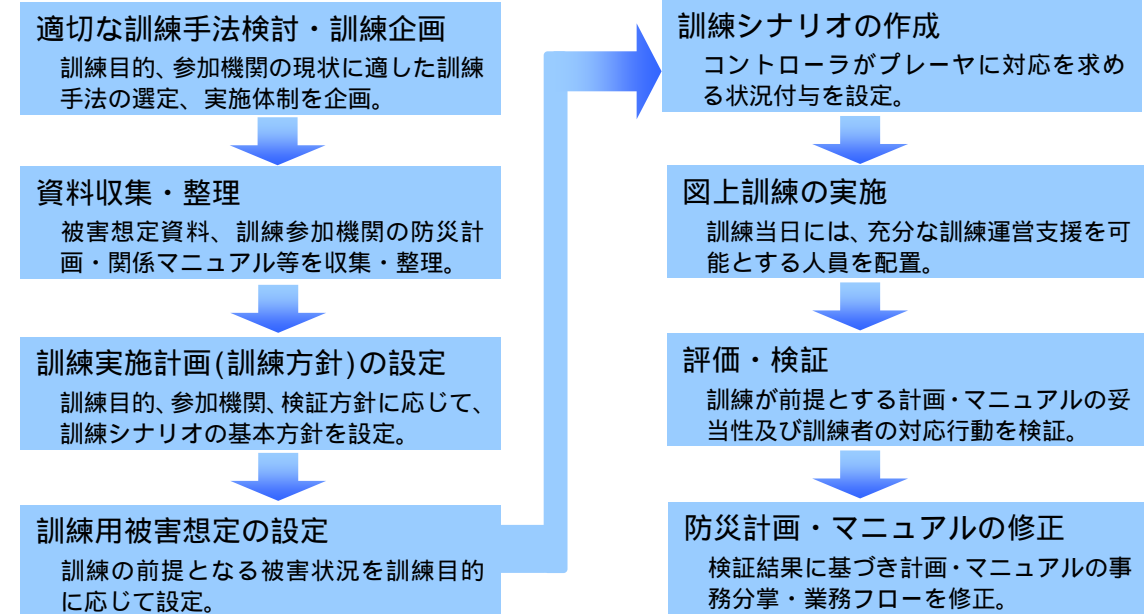


図上訓練の特徴 = 多様な目的と規模の訓練が可能

上の図は県や市町村の災害対策本部をプレーヤの例としていますが、訓練目的に応じて、様々な実施方法が可能です。例えば、単独の部署をプレーヤとして取りあげ、より小規模な図上訓練を行ったり、特定の部署の災害対応について詳細な検証を目的とした訓練を行うことも可能です。

## 図上訓練実施の流れ

図上訓練の実施フロー



訓練に必要な資料	訓練で作成する資料	訓練による成果
被害想定に必要な資料 ・ 県等の地震被害想定調査 ・ 浸水想定区域図 ・ 土砂災害危険箇所 ・ 過去の災害履歴資料 etc 地域防災計画(特に本部各部事務分掌、備蓄関係資料) 初動対応マニュアル 関係機関の防災計画・マニュアル等 関係機関との協定等資料	訓練用被害想定 訓練シナリオ ・ 訓練シナリオ概要(本部各部の予想行動表) ・ 状況付与計画 訓練用帳票(訓練時の連絡や対応の記録に用いる) 評価検証計画	訓練の評価検証報告書 防災計画・マニュアル等の修正案

## 弊社ご提案のポイント

実践的な訓練シナリオの作成

当社は、地域防災分野の各種の調査・検討や防災計画・マニュアル策定等の業務経験から、自治体等の防災関係機関に関する豊富な災害対応事例データを蓄積しており、それらに基づきリアルで実践的な訓練シナリオの作成をご提案します。

訓練成果に基づいた防災計画・マニュアルの検証

当社は、図上訓練の評価検証にも十分配慮した訓練の企画を行い、各種の防災計画やマニュアル等の効果的な改善案を提案します。